

新型コロナウイルスは紛らわしい。症状が熱中症にもインフルにも似ている。冷静な判断と受診を。

## コロナ不況の今こそ消費税の引き下げ、廃止を！

消費税をなくす長岡各界連絡会では、8月24日(月)に恒例の街頭行動を行いました。平日昼休みのアオーレ長岡(市役所)前を通る人は少なめでしたが、7人が参加し1時間足らずの行動で「消費税を5%に引き下げること」を求め「請願署名が7筆よせられました。」

今回は「消費税増えても大して困らない人達が議員になってものごとを決めてるから庶民が困る。こんな状況だから下げてもらわない」と言って署名していく人、「自分もイギリスに留学していた時消費税高くて困った。でも福祉やインフラ整備などで必要だから高くて仕方ない」と言って署名しなかった人などさまざまでした。日本の消費税は引き上げの度にその後大企業の法人税減税が行われ、「増税で福祉の充実」は絵空事になっているのが現実です。そして消費税増税が庶民・中小業者の暮らしと経済を破壊してきただけに、コロナ禍で落ち込んだ消費を喚起し社会のすみずみまで恩恵をもたらす消費税減税こそが、国民の暮らしを守るために政府がとるべき政策です。

海外では、コロナ拡大以降、景気対策として消費税(付加価値税)の税率を下げる国が多くなっています。私たちも訴えましょう。「消費税を5%に、そして廃止を！」



あきらめていませんか?申請を。

「面倒くさい」「どうせムリ」まずは相談!

国の「持続化給付金」や「家賃支援給付金」、長岡市の「国民健康保険料(国保料)の減免」...毎週のように長岡版で申請を呼びかけていますが、「手続きが面倒そう」「たいした金額にならないんじゃない?」そんなことありません!

個人事業主に対しては、持続化給付金が最大100万円、家賃支援給付金が最大300万円一括支給、国保料に関しては、世帯構成によっては年間30万~50万円もかかる保険料が、前年所得300万円以下なら全額免除に!

「借入や支払猶予」ではなく「支給や支払免除」です。誰にとっても効果は大きいはず。

最初半ば諦めていた会員が思い切って役員や事務局に相談、申請して見事給付された例も多くあります。まずは相談ください!

国や市からの「問い合わせ・お尋ね文書」

最近、「税務署からこんな問い合わせの文書が来たんだけど」「市の税務課から、お尋ねの書類が来たけど心当たりが無い」など事務局への問い合わせがあります。不安な方は、すぐ相手に連絡したり、文書を捨てたりせず、まず支部役員や事務局などに確認・問い合わせてください。お願いします。

事務所にお越しの際は、必ず事前に約束を!

最近、持続化給付金や家賃補助制度などの関係で、事務所に来られる方が大変増えていきます。相談内容によってはかなり時間がかかる場合があります。心配で早く解決したいのはわかりますが、時間を約束せずに突然事務所に来られると、他の相談者と話し中で対応できなかつたり、集金・配達・会議・書類提出で役所まわり等外出で不在だったりする場合があります。

また事前に時間を約束する際に、持ってきて欲しい資料などを伝える事で、相談がより効率的になる事もありますので、ぜひご協力をお願いします。

